



収 受	
令和	-7.7.-1
	吹 田 市 環境保全指導課

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

吹田市長 様

住 所 大阪府吹田市岸部新町6番1号

提出者 国立研究開発法人国立循環器病研究センター

氏 名 大津 欣也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6170-1069

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
事業場の所在地	大阪府吹田市岸部新町6番1号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	別紙5の通り
② 事業の規模	別紙5の通り
③ 従業員数	別紙5の通り
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙5の通り

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項別紙4, 5のとおり

(管理体制図),

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項別紙4, 5のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項別紙4, 5のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項別紙4, 5のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量した特別管理 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により 減量する特別管理 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項別紙4, 5のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項別紙4, 5のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙4, 5のとおり		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用に 関する事項	【前年度 (年度) 実績】別紙4, 5のとおり		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

前 年 度 【6 年 度】 実 績

住 所	電 帳 簿 番 号	電 帳 簿 号	電 帳 簿 号	電 帳 簿 号
特別管理資産管理会社設立する事業主が別に定める住所	特別管理資産管理会社設立する事業主が別に定める住所	特別管理資産管理会社設立する事業主が別に定める住所	特別管理資産管理会社設立する事業主が別に定める住所	特別管理資産管理会社設立する事業主が別に定める住所
大塚市役所南側出張所1号	大塚市役所南側出張所1号	大塚市役所南側出張所1号	大塚市役所南側出張所1号	大塚市役所南側出張所1号

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十	特別管理資産管理会社の種類	計 算 基 準										注 意 事 項				備 考
		① 出 資 額	② 自 有 資 産 率	③ 自 有 資 産 率	④ 自 有 資 産 率	⑤ 自 有 資 産 率	⑥ 自 有 資 産 率	⑦ 自 有 資 産 率	⑧ 自 有 資 産 率	⑨ 自 有 資 産 率	⑩ 自 有 資 産 率	⑪ 自 有 資 産 率	⑫ 自 有 資 産 率	⑬ 自 有 資 産 率	⑭ 自 有 資 産 率	
1	7000 ①引火性原油	1.000														
2	7010 ②引火性原油(有)	0.000														
3	7100 ③ 炭酸	0.000														
4	7200 ④ 炭アルカリ	0.000														
5	7210 ⑤ 炭アルカリ(有)	0.000														
6	7300 ⑥ 炭酸性廃棄物	0.000														
7	7400 ⑦ 炭酸(有)	0.000														
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
	合計	241.438	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

(注) トン単位は原則として四捨五入、ただし、数字が明確であれば小数第3位まで記載可。

[illegible][illegible][illegible]

別紙 5（廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	83：医療業
②事業の規模	550床
③従業員数	2000人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	病院：診療等で排出し、各病棟にて指定の場所に分別した廃棄物を、業務委託している清掃業者が回収し、ゴミ集積場へ運ぶ。 研究：研究等で排出し、各部署にて指定の場所に分別した廃棄物を、業務委託している清掃業者が回収し、ゴミ集積場へ運ぶ。 その後、特別管理産業廃棄物の収集・運搬及び処理については、業者へ委託。 中間処理（焼却）後は、最終処分地において埋め立て、中間処理（中和）後は、全量リサイクル。

2 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

別紙のとおり

3 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 治療に伴い発生した特別管理産業廃棄物であるため、計画的に削減することは困難であり、特に実施していない。
②計画	（今後実施する予定の取組） 治療に伴い発生する特別管理産業廃棄物であるため、計画的に削減することは困難であり、特に実施する予定はない。

4 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特別管理産業廃棄物は、他の廃棄物と分別して保管している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、分別保管を行う。

5 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(これまでに実施した取組) 特になし

6 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(今後実施する予定の取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

7 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(今後実施する予定の取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

8 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 定期的に処理状況の現地確認を行っている。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引続き定期的に処理状況の現地確認を行う。

9 電子情報処理組織の使用に関する事項

計画	(今後実施する予定の取組等) すでに電子マニフェストを導入しており、今後も全量電子マニフェストで運用する。
----	--

国立循環器病研究センター
〔管理体制図〕

